

# 大胡城跡

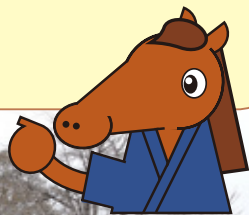
群馬県指定史跡：昭和42（1967）年2月24日指定

所在地：前橋市河原浜町660-1

大胡城は大胡氏、牧野氏の居城として築かれ、南北670m（大胡神社から前橋市役所大胡支所）、東西最大幅250m（荒砥川と横町川<sup>※1</sup>）の大きさです。現在の遺構は、天正18（1590）年二万石大名として入府した牧野氏時代に整備されたものです。二ノ丸の跡には県内では珍しい「枡形門」の遺構が残っています。

元和2（1616）年7月に牧野氏が五万石余で越後国頸城郡長峰に転封すると、大胡城は前橋城主酒井氏の支配下に入ります。寛延2（1749）年酒井氏の姫路城転封により廃城となりました。

※1 旧名：風呂川



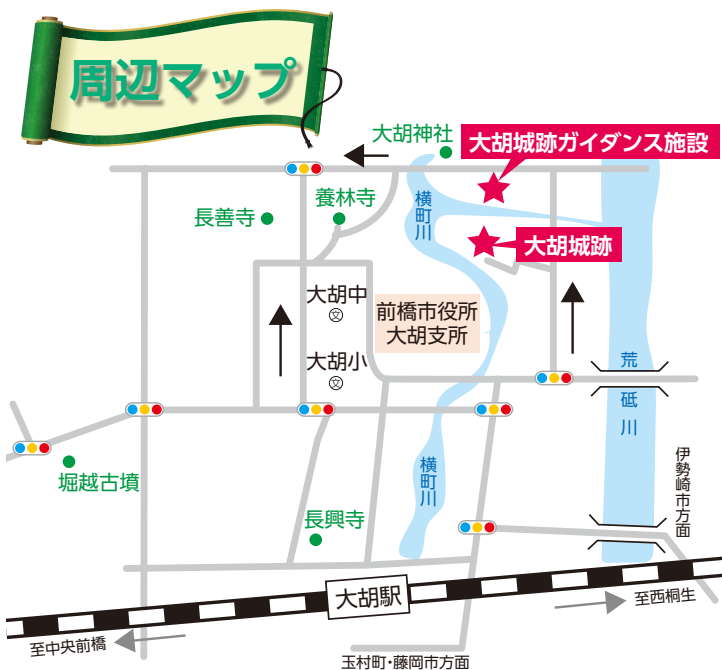
# 大胡城跡ガイドンス施設

当ガイドンス施設は、大胡城跡を中心とした大胡の歴史を紹介するために開設しました。

大胡の歴史として後世に伝えたいものを展示し、地域の人々の交流の場となることを目指しています。大胡城跡を起点として大胡という地域について、学び・語り・結びつき、ここに集う人々によって受け継がれていくものを守り・発展させていきたいと願っております。

地域に残る文化遺産の保存と活用を地域の人々と一緒に担っていかれたらと思います。

施設内では、平成11年度に発掘調査された本丸北大堀切りから出土した遺物を中心に紹介しています。



# 利用案内

所在地 前橋市河原浜町641-1

ご利用方法については文化財保護課にお問い合わせください。

※常時開館はしていません

# 交通案内

## 上毛電鉄

[大胡駅から 徒歩20分/タクシー5分]

## ふるさとバス

最寄りバス停 旧根古屋自治会館

ご利用の際は下記へ電話してください

(有)赤城タクシー 電話：027-283-3122

## 自動車

北関東自動車道駒形ICより県道40号線を北上約8km

# お問い合わせ

前橋市教育委員会事務局文化財保護課  
〒371-0853

前橋市総社町三丁目11番地4

電話：027-280-6511

FAX：027-251-1700

メール：bunkazai@city.maebashi.gunma.jp

HP：前橋フィールドミュージアム  
<http://maebashi-bunkazai.jp/>





5

石碑の写真

「大胡城跡の碑」  
明治時代、売りに出された大胡城跡をこの地の人々が資金を出し合って買取り、村の共有財産とした経緯が記されている。この石碑には旧河原浜村の人々のこの地への思いがまつまっている。



6

二ノ丸から見た土塁。  
堀が深い。

7

用水から水を汲む水の手虎口。  
石積みと土塁が残っている。



8

保存状態の良い石垣が  
よく残っている樹形門。

大胡城跡は曲輪が南北に縦に並び連郭式の平山城。現在残る大胡城の遺構は近世初期の城址である。



山崎 『群馬古城墨社の研究』上巻に一部加筆



1

大胡神社は大胡城の北限の近戸曲輪にある。大正4年の算額(市指定文化財)とムクロシ(市指定天然記念物)の神木がある。

2

大胡城ガイダンス施設へ向かう階段左手の石垣は当時のもの。



3

見事な大堀切り。  
一見の価値あり！



4

大胡の街並みが一望できる本丸！本丸の中心当たりにある石垣で本丸を東西に分ける。東は城主の生活の場、西は政治を行う場だった。

## 城郭用語

- 曲輪 石垣や土塁によって囲まれた空間、郭とも書く
- 虎口 城や各曲輪の出入り口のこと。
- 樹形門 虎口の一形態で、壁で囲ってできる方形の区画の門のこと。攻め込んでくる敵の直進を防ぐ役割を持っていた。
- 噴違い 左右の土垣が噴違いになっている虎口のこと。近戸曲輪北縁の土垣や樹形門二ノ丸の石垣に見られる。
- 堀切り 山城、丘城で両端を切り離した空地。
- 根古屋 武士が日常生活を送る場所。

